

2021年度事業計画

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日



公益財団法人山田科学振興財団

2021 年度事業計画

【事業の概要】

当財団は、自然科学の基礎研究を助成振興し、もって我が国の科学研究の向上発展と人類の福祉に寄与することを目的としている。この目的を達成するため、定款第 4 条に定めるように、自然科学における多岐の分野にわたる(1)基礎的、学際的研究に対する援助、(2)研究者の招聘・派遣、その他国際学術交流に対する援助、(3)学術集会の開催援助及び開催、を公益目的事業として実施している。2021 年度の具体的な事業内容は以下のとおりとする。

尚、公益目的事業費は、基本財産運用益、特定資産運用益、寄附金収入を計画に従って適切に配分する。

【事業の内容】

I 自然科学の基礎的、学際的研究に対する援助

1. 研究援助

自然科学における基礎研究について、国内から広く募り、厳正な審査のもと研究費の援助を行う。2021 年度の募集は 2022 年度に実施するものを対象とし、2021 年度の選考および援助については 2020 年度に申請・推薦があった課題を対象とする。

1) 募 集

募集対象：主として独立した研究者によって計画された研究であり、2022 年度から実施予定の研究計画を募集する。

募集方法：募集要項を本財団ホームページ上に掲載するとともに、大学や公的研究機関、および財団が指定する推薦指定学会等に広く案内する。研究者からの援助申請のうち、推薦指定学会、もしくは本財団関係者（役員等、役員等経験者、および学術参与）から推薦を受けた研究計画を選考対象として受理する。

2) 選 考

選考対象：2020 年度の公募期間中に申請・推薦された研究計画を選考対象とする。

選考方法：選考対象について、申請書類と外部専門委員による一次審査結果（書面）をもとに、物理、化学、生物・医学の各分野の専門家から成る選考委員会が審議して採択案を作成する。次いで、理事会が採択案について審議し、援助課題および援助額を決定する。

選考方針として、評価が定着して研究資金が得やすいものより、高い目標を掲げた萌芽的・挑戦的基礎研究を重視することとし、以下の点を考慮する。

- ・萌芽的・独創的研究
- ・新規研究グループで実施される研究
- ・学際性、国際性の観点からみて優れた研究

・国際協力研究

3) 援 助：2020 年度の実績を維持し、総額 4,000 万円の援助を実施する。尚、1 件あたりの援助額は 100～500 万円として公募し、15 件程度を採択する。

4) 成果報告及び研究交歓会

2021 年 3 月末に研究期間が終了した援助課題（2019 年度援助課題）について、代表研究者から研究成果報告書の提出を要請・受領し、財団ホームページ、事業報告書等をとおして広く公開する。また、同研究者及び本財団関係者を招集し、研究成果について意見交換する成果報告会と本財団関係者による学術講演会を組み込んだ研究交歓会を開催する。当研究交歓会の開催費用として、400 万円を計上する。

II 自然科学の研究を行うための招聘・派遣、その他国際学術交流に対する援助

1. 海外研究援助および長期間派遣援助

海外における学識交換を通じて学術の国際交流を促し、また共同研究によって相互に研究の学際的あるいは国際的な進展を図るため、海外での研究活動（1 カ月～1 年間）に要する渡航費、滞在費、研究経費等の一部を援助する。

本事業は、2020 年度までは「長期間派遣援助」として実施し、2020 年度の公募から「海外研究援助」として新たな内容で実施しているが、2020 年度に長期間派遣援助として実施予定の課題の一部がコロナ禍の影響により 2021 年度に延期して実施することになったため、以下の援助対象および援助額については、新旧の事業に分けて計画する。

2021 年度の募集・選考は 2022 年度に計画するものを対象とし、援助の実施については長期間派遣援助として 2019 年度に採択した課題、および 2020 年度に海外研究援助として採択した課題を対象とする。尚、2021 年度に予定している研究計画が、コロナ禍の影響により実施できない場合は、援助を受ける者と協議の上、次年度以降に延期する等の措置を講じることとする。

1) 募 集

募集対象：2022 年 4 月～2023 年 3 月の間に海外での研究活動を開始する計画を募集する。

募集方法：募集要項を本財団ホームページ上に掲載するとともに、広く大学や公的研究機関等に案内する。研究者からの援助申請のうち、申請内容に不備のないものを選考対象として受理する。

2) 選 考

選考対象：2021 年度の公募期間中に申請された研究計画を選考対象とする。

選考方法：選考対象について、申請書類と外部専門委員による一次審査結果（書面）をもとに、物理、化学、生物・医学の各分野の専門家から成る選考委員会が審議して採択案を作成する。次いで、理事会が採択案について審議し、援助課題および援助額を決定する。

3) 援助対象および援助額

・海外研究援助

援助対象：2020 年度に公募・採択した課題に対して援助を行う。

援助額：1 件 100 万円を 4 件程度、1 件あたり 200 万円を 4 件程度の援助を行う予定であり、援助の総額は最大で 1,400 万円とする。

・長期間派遣援助

援助対象：2019 年度に公募・採択し、2020 年度に援助を実施する予定だった 7 件の採択課題のうち、5 件が新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響により延期となったため、当援助を 2021 年度に実施する。

援助額：1 件あたり 10,000 米ドル、総額 50,000 米ドルの援助を実施する。

4) 成果報告と研究交歓会

2020 年度に援助が終了した研究者に成果報告書の提出を要請・受領し、財団ホームページ、事業報告書等をとおして広く公開する。また、2018 年度以降の援助受領者のうち帰国が確認できた研究者ならびに本財団関係者を招集して研究成果について意見交換する研究交歓会を開催する。尚、2021 年度の研究交歓会は、研究援助事業と長期間派遣援助事業（現・海外研究援助事業）の援助者を合同で計画・開催する。

Ⅲ 自然科学に関する学術集会の開催援助及び開催

1. 国際学術集会開催援助

2021 年度の国際学術集会援助は、「山田コンファレンス」および「山田シンポジウム」として定義する国際学術集会の開催主旨に合致する会議を広く募集するとともに、既に採択した当該国際学術集会の開催経費の一部を援助する他、2022 年度に 45 周年記念事業として実施することを計画し、2020 年度に公募・採択したトップ・コンファレンス支援事業採択課題について開催前年度（2021 年度）に決定額の一部を援助する。

本援助事業において、「山田コンファレンス」とは、以下に示す①を主目的とし、その上で②③を合わせて満たす集会とし、「山田シンポジウム」とは、②または③を主目的とした集会、もしくは②および③の両方を主目的とする集会とする。

① 基礎科学の適切なテーマについて国際的視野で最高レベルの研究の現状を総括する。

② 基礎科学研究者の世代間の対話によって、若い世代の研究の発展の基礎を構築する。

③ 基礎科学の異分野間の交流を図り、cross disciplinary な討論を通じて、新しい発展を模索する。

また、「トップ・コンファレンス支援事業」とは、近年、アジア・パシフィック各国の競争力向上により日本への招致が困難となっている世界的に重要な国際会議の招致・開催援助という研究者のニーズを汲んで新しく立ち上げられた事業であり、従来の国際学術集会援助のカテ

ゴリーと切り分け、財団設立 45 周年記念事業として 2022 年に限り試験的に実施するものである。

1) 募 集

募集対象：「山田コンファレンス」および「山田シンポジウム」として 2024 年に実施を計画する国際学術集会を募集する。

募集方法：募集要項等を本財団ホームページ上に掲載し、援助を希望する大会主催者からの直接応募を受け付ける。

2) 選 考

選考対象：2020 年度の公募期間中に申請された、2023 年度開催予定の国際学術集会を選考対象とする。

選考方法：受理した国際学術集会計画書ならびに専門分野の選考委員による意見書をもとに選考委員会が審査し、採択案を作成する。次いで、理事会が本採択案について審議し、援助課題および援助額を決定する。

3) 援助対象および援助額

当初 2021 年度に実施を計画していた山田コンファレンス「動物の左右非対称性の起源」（援助額 800 万円）は、開催の意義として研究者の Face-to-Face での意見・情報の交換を特に重視して計画されたものであるが、昨年より続く新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下で、この意義に適う開催および準備が困難であるため、本会議の大会責任者と協議し、2022 年度に開催時期を延期することを申し合わせた。

そのため、2021 年度の国際学術集会開催に関する援助は、2022 年度実施予定の各国際会議（3 課題）の開催準備のために、経費の一部を以下のとおりに開催前年度に援助することを計画し、援助総額は 500 万円とする。各会議ともに残りの援助金額については、開催年度（2022 年度）に援助を行う。

・山田コンファレンス

「動物の左右非対称性の起源」（2019 年度採択課題）：

援助決定額 800 万円のうち 100 万円

「金属錯体を用いた分子スピントロニクス国際会議」（2020 年度採択課題）：

援助決定額 800 万円のうち 100 万円

・設立 45 周年記念トップ・コンファレンス支援事業

「第 28 回統計物理学国際会議」（2020 年度採択課題）：

援助決定額 500 万円のうち 300 万円

2. 山田研究会

山田研究会は若い世代の基礎科学研究者の自由な発想の交換と相互啓発を促進する小規模な集会とし、基礎科学の異分野間の交流を図り、cross disciplinary な討論を通じて、

新しい発展を模索することも強く意識する実験的な研究集会であり、当財団の主催のもとに行うものとする。

1) 推 薦

本財団関係者（役員等、役員等経験者および学術参与）から開催概要を付した推薦書を受け付ける。

2) 選 考

開催概要、推薦書、専門分野の選考委員による意見書をもとに選考委員会にて採択の可否を審査し、採択の場合は理事会にて承認・決定する。

3) 予算および実施計画

1 研究会あたりの予算は 100 万円を上限とし、2021 年度は 1 件を採択・実施する。

4) 成果報告

開催後、開催責任者に報告書の提出を求め、財団ホームページ、事業報告書および財団ニュース等をとおして広く公開する。

IV 各事業の公募期間・選考スケジュール

1. 公募期間

1) 研究援助

募集期間：2021 年 10 月 1 日～2022 年 2 月 28 日

2) 海外研究援助

募集期間：2021 年 8 月 1 日～2021 年 10 月 31 日

（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の間に海外へ出発するものを対象とする。）

3) 国際学術集会開催援助

「山田コンファレンス」・「山田シンポジウム」

募集期間：2021 年 4 月 1 日～2022 年 2 月 28 日

4) 山田研究会

推薦期間：随時、受け付ける。

2. 選考スケジュール

1) 研究援助、国際学術集会開催援助、及び山田研究会

第 1 回選考委員会 : 2021 年 7 月 31 日

第 1 回臨時理事会（決定承認） : 2021 年 7 月 31 日

2) 海外研究援助

第 2 回選考委員会 : 2022 年 2 月 19 日

第 2 回定時理事会（決定承認） : 2022 年 2 月 19 日

V その他

1. 事業報告書の発行

情報公開ならびに事業活動の周知のため、第44回（令和2年度）事業報告書を編集・発行し、財団関係者、大学・研究機関、学会、他財団、等に配布を行う。

2. 財団ニュースの発行

当財団関係者、各援助事業の受領者、推薦依頼学会等との間のコミュニケーションを図るため、広報誌「財団ニュース」を年2回発行し、関係各位に配布を行う。

3. オンライン申請システム（ソフトウェア）の開発

コロナ禍において従来の文書送信による公募・申請が敬遠される傾向にあること、ならびに世間的なペーパーレス化の流れに対応して、各公募事業のオンライン申請システムの開発を行う。尚、開発費は168万円を予定しているが、設備投資に該当する費用として、公益目的事業費から減価償却を行う。

4. ホームページ・リニューアル

昨年度から検討を進めてきた新しいホームページ制作を完了し、広報活動の活性化に努める。

VI 留意事項

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

昨年から拡大を続けている新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、当財団においては、2020年度の長期間派遣援助（現在は、海外研究援助）や国際学術集会援助などの国際交流ならびに集会を伴う事業のいくつかが中止・延期することとなった。現時点でも収束はみられないことから、2021年度も引き続き事業運営に大きな影響を及ぼすことが懸念される。そのため、ここで計画する援助事業については、採択者の活動状況や希望に応じて援助の実施時期・期間を変更・延期するなど、柔軟な対応が行えるように努める。

事業計画概要

I 自然科学の基礎的、学際的研究に対する援助

事業名	実施計画	予算額
研究援助	<ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度に公募した申請課題から 15 件程度を採択し、援助を実施する。 ・2022 年度に援助を行う研究課題を公募する。 (公募期間：2021 年 10 月 1 日～2022 年 2 月 28 日) 	4,000 万円 —
研究交歓会	<ul style="list-style-type: none"> ・2019 年度の研究援助採択者と財団関係者が研究成果について意見交換を行う研究交歓会を 8 月～10 月に開催する。 	400 万円

II 自然科学の研究を行うための招聘・派遣、その他国際学术交流に対する援助

事業名	実施計画	予算額
海外研究援助	<ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度に採択した 8 課題について援助を実施する。 ・2022 年度に援助を行う研究課題を公募し、8 件程度を選考・採択する。(公募期間：2021 年 8 月 1 日～10 月 31 日) 	1,400 万円 —
長期間派遣援助	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により 2020 年度に実施できなかった 5 課題について援助を実施する。 	520 万円
研究交歓会	<ul style="list-style-type: none"> ・2019 年度の長期間派遣援助採択者と財団関係者が研究成果について意見交換を行う研究交歓会を 8 月～10 月に開催する。 	予算は I に計上

III 自然科学に関する学術集会の開催援助

事業名	実施計画	予算額
国際学術集会 開催援助	<ul style="list-style-type: none"> ・当初 2021 年度に開催予定であった山田コンファレンス「動物の左右非対称性の起源」は、コロナ禍の影響により 2022 年度に延期する。また、開催準備のため、費用の一部を 2021 年度に援助する。 	100 万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・2022 年度山田コンファレンス「金属錯体を用いた分子スピントロニクス国際会議」の開催準備のため、費用の一部を 2021 年度に援助する。 	100 万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・2022 年度に実施予定の設立 45 周年記念事業トップ・コンファレンス支援事業採択課題「第 28 回統計物理学国際会議」について、開催準備のため、援助の一部を 2021 年度に実施する。 	300 万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年度開催予定の国際学術集会援助課題を 1 件採択する。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ・2024 年度の国際学術集会開催援助課題を公募する。 (公募期間：2021 年 4 月 1 日～2022 年 2 月 28 日) 	—
山田研究会	1 件程度 採択、実施	100 万円

本事業計画書に変更がある場合、基本的な変更は理事会の決議を要するが、日時の変更など基本的な変更でない場合は理事長に一任する。